

早岐瀬戸

いきいき生物マップ

私たちの住む町、早岐にある早岐瀬戸はその狭さから、川と思われがちですが、大村湾と佐世保湾をつなぐ海峡。すなわち立派な「海」です。その狭さは世界的にも珍しく、観潮橋の下ではわずか幅10m程しかありません。ある時は右からある時は左から、潮の満ち引きにより流れが変わるのも特徴です。そして引き潮の時には佐世保では珍しい干潟があらわれます。そこに暮らす生き物達は多種多様で、カブトガニやシオマネキなど他では見られない貴重な生きものたちが生息しています。



観察時の注意

その1. 水辺の深い場所には行かない
 その2. 希少生物は捕獲しない
 その3. 花や草木などを折らない
 その4. ゴミは捨てずに持ち帰る



カブトガニ
 暖かくなるとエサを食べながら干潟を徘徊し、夏にはオスとメスがつかいあって産卵にやってきます。



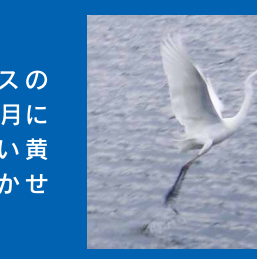
ハクセンシオマネキ
 6~8月が繁殖期で、白い大きなはきみを振り、求愛行動をします。



シオマネキ
 ハクセンシオマネキに比べて左右の眼柄が中央寄り、甲は逆台形をしています。環境省が発表した無脊椎動物レッドリストで絶滅危惧II類に指定されています。(2006年)



ハマボウ
 ハイビスカスの仲間、7~8月にかけて美しい黄色い花を咲かせます。



サギ科
 ・アオサギ
 ・ダイサギ
 ・コサギ
 ・アマサギ(7~8月)

なまえ

※引き潮時のマップです。